災害時の燃料供給で協定を締結

８月20日、下妻市役所で、下妻市、茨城県石油業協同組合、茨城県石油業協同組合下妻支部の３者が、災害時の燃料供給に関する協定を締結しました。

この協定は、災害時等において、茨城県石油業協同組合及び茨城県石油業協同組合下妻支部から燃料の提供を受け、市民生活の早期安定化を図ることを目的としています。

具体的な協力の内容は、災害対策業務に用いる車両・機器等、避難所及び庁舎その他行政事務の継続に必要な施設で使用する燃料の提供を受けることです。これにより、災害時における燃料の安定供給が期待されます。

今回の協定締結は、下妻市の災害に強いまちづくりに大きく寄与するものと期待されています。

問 消防防災課

左から茨城県石油業協同組合 小澤利光下妻支部長、
茨城県石油業協同組合 稲葉修一理事長、菊池市長

敬老福祉大会を開催

９月14日、千代川公民館において、敬老の日にちなみ「第50回敬老福祉大会」が開催されました。イベントは、市消防防災課や下妻警察署の講話から始まり、続いて老人クラブや市内団体などによる芸能発表が行われました。参加者たちは日頃の練習成果を発揮し、歌や踊りなどが披露されました。会場では、歌に合わせての手拍子、大きな笑い声につつまれるなど、楽しいひとときとなりました。

老人クラブは、仲間づくりを通じて生きがいや健康づくりを促進し、「生活を豊かにする楽しい活動」を行っています。また、知識や経験を活かした社会活動にも取り組み、明るい長寿社会の実現を目指しています。この大会でも地域の高齢者が一堂に会し、交流を深める貴重な機会となりました。

問 長寿支援課

地域おこし協力隊 宮澤優輝さんが退任

地域おこし協力隊の宮澤優輝さんが、任期満了に伴い2024(令和６）年７月をもって退任しました。

宮澤さんは2021(令和３)年８月から３年間、下妻市のまちメディア「サヌマー」の立ち上げやＳＮＳでの情報発信に尽力し、フォロワー数を7,000人強に増やすなど、市内外に下妻の魅力を広く発信してきました。

特に、インスタグラムやＸを活用し、下妻の歴史、自然、グルメ、イベントなど、魅力的な情報を積極的に発信するなど下妻の知名度向上と交流人口の拡大に大きく貢献しました。

退任後も現在開催中の民公連携イベント「シモツカレ」の実行委員長を務めるなど、引き続き下妻の地域活性化に取り組んでいくとのことです。

問 都市整備課

サヌマー
インスタグラム

中学生英語キャンプ

-SKIP English Camp for JHS-

中学生英語キャンプ「SKIP English Camp for JHS」が、８月10日から12日までの２泊３日の日程で実施されました。

この英語キャンプは、福島県天栄村にあるパスポートのいらない英国として、英国を再現した施設「ブリティッシュヒルズ」で行われ、市立中学校１年生から３年生30名が参加しました。

英語キャンプでは、現地講師による英語のレッスンやアクティビティが行われ、生徒たちは英語を使って生活することで、これまで学んできた英語を実践的に活用し、講師や参加者同士の交流を通して、英語学習の楽しさを感じ取ることができました。

さらに、英国の伝統文化やマナーを体験する活動も行われ、国際人としての感覚を養うことができました。最終日には、英語でのスピーチによる成果発表会が行われ、参加した生徒は英語力が向上したことを実感できたようです。

この取り組みを通じて、中学生の英語力の向上、英語学習への意欲の喚起、そして国際性の育成において大きな成果を達成することができました。

問 指導課

大人のための英会話教室を開催

下妻市では、７月31日から９月５日にかけて、計５回にわたり大人のための英会話教室を開催しました。この講座は、市職員であるブレンドン・リード講師により行われ、初級者向けの「English Cafe（イングリッシュカフェ）」と中級者向けの「English Table（イングリッシュテーブル）」を設け、受講生たちは英会話のスキルアップを目指しました。

「English Cafe」では、自己紹介や日常で使える英会話を学び、参加者同士の交流が深まりました。一方、「English Table」では、ディスカッションやフリートークを通じて、より高度な英会話力を養うことができました。

ブレンドン講師の講座で、受講生は英語を使う楽しさを味わいながら、実践的な英語力に磨きをかけました。

問 指導課